

# 大腸内視鏡検査（治療）を受けて頂く方へ

大腸内視鏡検査（治療）は大腸の中を内視鏡（カメラ）を用いて観察し、診断や治療を行うものです。便がたくさん残っている場合は検査ができませんし、現在治療中の病気によっては注意を必要とする場合があります。そのため、検査（治療）の内容について十分に御理解頂き、注意事項をお守りいただかなくてはなりません。

この説明書はそのために用意されたものです。検査（治療）の前に必ずお読み頂き、何か御質問などがございましたら、御遠慮なくお尋ね下さい。

## 【目的】

大腸（直腸と結腸に分けられる）と小腸の最終部分(回腸終末部)におこる癌やポリープ、炎症などの病気の診断や治療を目的に行われます。

## 【準備】

大腸に便が残っている場合は十分な検査ができません。便を十分に取り除くために、検査の前日の夜に2種類の下剤を服用して頂きます。さらに検査の当日、検査が始まる約3時間前から大量の下剤（約2,000ml）を服用して頂き、細かな“便のかす”まで洗い流して頂きます。なお、検査当日は検査終了まで絶食となります（ただし、水やお茶等、**糖分等を含まない透明な水分**は飲んで頂いても結構です）。

## 【検査（治療）の実際】

### ◇検査前の投薬

検査の直前に睡眠導入剤や鎮痛剤を静脈に注射します。これによって、痛みの少ない、楽な検査（治療）を受けて頂けます。しかし、検査（治療）終了後は頭がボーッとし、足元もフラフラとする場合があります。検査（治療）終了後約1時間で歩いてお帰り頂ける状態になりますが、車の運転はできませんので、御自分で運転されての御来院はご遠慮下さいます様お願い申し上げます。

### ◇検査の方法

検査台の上に左側を下にして横たわって頂きます。その後、担当医師が肛門から直径約1cmの内視鏡（カメラ）を挿入し、クネクネと曲がった大腸をアコーデオンをたたむようにまっすぐにしながら進み、長さ約1.5mの大腸を80cm位に短くして、大腸の一番奥（盲腸）、さらに小腸の一部（回腸終末部）にまで入って観察します。

## 【検査（治療）後】

◇ふつうの観察だけの場合には特に注意や制限はありません。

◇粘膜のごく一部を採取して（生検）、細胞レベルでの検査を行う場合には、当日の飲酒を止めて頂き、出血防止の薬を3日間服用して頂きます。

◇大きさが5mm以上の腫瘍性ポリープなどが発見された場合には、その場で直ちに病変全体を切除することがあります（ポリープ切除術あるいは粘膜切除術）。

切除後には約1週間の食事制限、飲酒制限、運動制限、飛行機に乗れないなどの制限が必要となります。

## 【偶発症】

内視鏡検査や治療によって出血や腸の壁に穴が開く（穿孔）ことがあります。

しかしその可能性は低く、全国集計では大量出血で0.007%、穿孔で0.02%程度です。特に出血は安静保持や食事制限などだけで止まることが少なくなく、緊急の場合でも再び内視鏡検査を行って、出血部位に対して適切な止血処置を行えば、開腹手術を受けて頂くことなく治ることがほとんどです。（穿孔の場合には開腹手術が必要となることもあります）。

## 特別に注意して頂くこと

他の病気で治療中の方や、糖尿病や肝硬変症など、出血がなかなか止まらないような病気の方は、事前にお申し出下さい。

特に、心臓病や脳血管障害などで、血液が固まりにくくなる薬を服用中の方は、必ず事前に御相談下さい。薬の種類によって検査の3～7日前から服用を一時中止して頂く必要があります。

また、心臓ペース・メーカーを御使用中の方も必ずお申し出下さい。ポリープを切除する際に使う電気メスによって、ペース・メーカーに悪影響を及ぼす可能性があり、安全な器具を特に選んで使用させていただきます。

## ポリープ切除術あるいは粘膜切除術について

検査中に大きさ5mm以上の腫瘍性病変が発見された場合、ただちに、その場で病変全体を切除させて頂くことがあります。

大腸腫瘍性病変の場合、良性腫瘍（腺腫）の一部に癌が存在することが少なくありません。したがって、腫瘍のごく一部だけを採取（生検）し、細胞レベルの顕微鏡検査を行っても、良性部分だけを見てしまい、癌を見落とす可能性があります。

そこで、癌の可能性が十分に考えられる5mm以上に大きな病変に対しては、取り残すことなく、まるごと切除することによって、確実な診断と治療を同時に行う必要があります。

ふつうのポリープはポリープ切除術によって治療します。しかし、平べったいもの（扁平型）や凹んだもの（陥凹型）、あるいは癌の可能性が高いものには粘膜切除術を行い、周囲の正常部分を含めてやや大きく切除します。

ほとんどのポリープは外来通院で安全に切除できますが、2cm以上の大きな病変の場合には、入院の上での切除が必要になることがあります。そのような場合、御希望により、大阪府済生会中津病院消化器内科など、適切な医療機関に御紹介し、安全且つ確実な治療を徹底させて頂いています。

### ◆経済的な御負担について

もちろん健康保険の対象ですが、かなり高額な医療になります。切除するポリープなどの数や存在する場所によって異なりますが、1割負担の方で約10,000円から13,000円程、3割負担の方で約30,000円から40,000円程、必要となります。

一方、生命保険の給付対象となる場合がありますので、生命保険会社の担当者に『外来通院で、内視鏡的結腸ポリープ切除術（あるいは内視鏡的結腸粘膜切除術）を受けたが、保険金の給付対象となりますか？』とお尋ね下さい。対象であれば当クリニックから証明書を発行させていただきますのでお知らせ下さい（有料：4,320円）。

何か、負担金に関する御相談がありましたら、御遠慮なくお申し出下さい。